



十神山

会報 安来節

YASU GI BUSHI

発行所 安来節保存会

〒692-0064
島根県安来市古川町534
TEL 0854-28-9988
FAX 0854-28-9393
http://www.y-hozon.com/
E-mail:admin@y-hozon.com

新名人に聞く

決意新たに



唄名人
西村利美
(本部道場長)

名の会員を持つ道場長として、これからも益々安来節保存会の発展の為に努力致します。

安来節演芸館も今年で三周年を迎え、今後も全国からのお客さんが増える事を願っております。

新春を迎え、二〇〇九年は年男です。その当り年に名人に昇格が偶然に重なった事はめつたに無く喜びも一入です。

私の安来節の原点は生まれ育った故郷が何かにつけ家族みんなで安来節をして親しみ、それぞれが三味線や鼓の伴奏をして唄声も流れていたのを聞いて自然に覚えしました。その内、私も兄の手ほどきで三味線が弾けるようになり、唄もうたえるようになりました。

昭和三十一年に保存会に入会し、三十三年には唄一級の部で優勝しました。それを機会に唄を本格的にやるようになり、その後、日立金属に入社し、当時「NHKのど自慢」で日本一に選ばれた故山本晴夫氏や絃名人故野坂亮利先生と出会い、社内での同好会活動を通じて年を重ねていくうちに私なりに努力して徐々に昇格しましたが、絃は師範で終わりましたが、唄に専念したため、唄は師範・大師範・准名人と昇格しました。

この度、安来節保存会より唄名人に推挙戴き、身に余る光栄に存じ深く感銘致しております。今だ未熟な私ですがこれからも一層努力し、今後郷土芸能安来節の保存と文化振興の為、微力ながら精一杯尽力していく所存でございます。

現在本部道場四百二十三

プロフィール

◆生年月日

昭和十二年一月九日

◆保存会役職

常任理事

支部長会副会長

本部道場長

◆入会年月日

昭和三十一年入会

◆活動記録

現在

毎年、安来市立赤江小学校四年生に唄の指導や市内の公民館教室の指導

その他 地方公演や海外公演にも多数出演

◆優勝大会での入賞歴

個人の部

一級・唄の部

優勝

団体の部

三年連続 第三位

松平直政公銅像の再建へ

彫刻家・米原雲海作の原型の元に

並河健蔵

昨年十二月十七日付、山陰中央新報は、松江藩初代藩主・松平直政公(一六〇一〜一六六六)の銅像を、松江市の島根県庁の前庭に再建することになったと報じた。この銅像は、直政公が十四歳で初陣に臨んだ折の、馬にまたがった往時の雄姿である。昭和二年に松江城本丸に建立されたが、第二次世界大戦の末期、金属の供出命令により、あつけなく撤去された。この銅像の原型は彫刻家・米原雲海が世間の熱い期待を受けながら製作したものである。

と書實的で親近感に溢れている。島根県指定文化財である「月」は、老人が両手を下に組んで、はるかに月を仰いでいる木彫であるが、内面的に豊かな詩情をうかがうことができる。「天楽」は筋骨逞しい鬼が天邪鬼を足で踏みつけているかのような力強い様相であるが、木目を効果的に使って筋肉隆々たるところを目のあたりに見せている作である。岡倉天心が自ら裸で立ち、両腕に力瘤を入れながら「これだよ!」と叫び絶賛した作品が戦災で消失したといわれている。

雲海は明治二年、安来市の新町に生まれた。小学校を修了するや、清水寺三重塔の建立棟梁であった富谷亀重の弟子になるなどして、暫く当地で修行に励んだ。しかし彫刻への思いは深まるばかりで、明治二十三年、結婚したばかりの新婚を残して単身上京し、近代彫刻の祖といわれる高村光雲に入門を許され、矢継ぎ早に作品を発表して好評を博した。

さて最初に建立された直政公銅像の原型は、大正十一年に完成したが、翌年の関東大震災の折残念にも破損した。しかも十四年、彼は心臓を病み、不幸にも享年五十五歳でこの世を去った。さぞ無念の極みであったろう。そこで師の意志を継いだ弟子たちが、その原型をもとに、昭和二年、松江城本丸に銅像を完成させたのである。

意志が強く、個性的で創造性に富んだ雲海の作風は、師・高村光雲に称讃されて、明治二十八年には、岡倉天心が校長で、光雲が教授をつとめる東京美術学校(現・東京芸術大学)の助教授に任せられた。二十六歳の若人は、安来町民の絶大な祝福を受けながら、新妻を伴って勇躍として上京したのである。その後は、山崎朝雲と共に光雲門下の双壁

米原雲海が慎重に構想を練り、渾心の力を振りしぼって製作した松平直政公の銅像が、私たちの期待に添えて、早期に再建されることを切に願っている。



岡倉天心が絶賛した木彫「天楽」

私と安来節

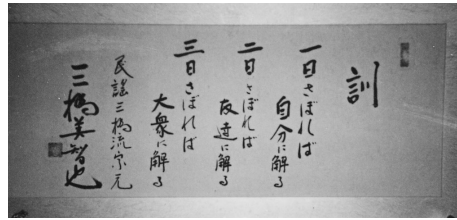


津山中央支部長
野坂 亮若

た。そして三味線は若手のホープに付けてという事で故人野坂亮利師匠にあげられ今日に至りました。

私は、この度絃に続き唄の准名人に認許され、感動とその重責を痛感しています。山間部の棚田農家に生まれた私は幼い頃から田圃に手伝いに出されてきました。田の畦に腰をおろして取る休憩は唯一の楽しみでした。それは空腹を満たす「茶の子」と大人の四方山話が聴けるからです。祭り太鼓の話から秋の芝居の台詞、盆踊りの振付まで興味津々なものはかりです。当時農村の娯楽といえば消防団や婦人会主体の演芸ぐらいでした。上意下達の時代でしたから役者が入れ代るだけで、見る側の人も全部芝居を知っていました。台詞が途切れようものなら客席から台詞が飛び出るような和やかな風景でした。父が大変芸達者で蓄音機を自転車に乗せて、私は同行しネジをかけたがら色々と習いました。子役になったり、歌い手になったり、乗せられるまま調子に乗って覚えたものです。こんな環境で育ち、父のDNAを受け継いだのかもしれません。

昭和三十七年RSKテレビ代表でキンカン本舗素人名人戦に出場し、故 名人田中啓一津ノ井支部長に声を掛けられたのが保存会へ入会するきっかけでした。



耳の片隅にとめていただく幸運です。沈みながら世相ですが安来節を通して全国の方々と友好を広め、自己研鑽と明るい社会づくりに貢献しようではありませんか、継続は力、健康は宝、人生下り坂にかかっています、どうか急がずにと声を掛けて下さい。

- ・ 一日さばれば 自分に解る
- ・ 二日さばれば 友達に解る
- ・ 三日さばれば 大衆に解る

SOW ~想 創 (そう) 始動

安来節保存会 若手グループ「SOW~想 創 (そう)」が「安来節の楽しさをアピールしよう」と昨年11月に旗揚げし、早速、2月22日に安来節演芸館で初公演が開催された。グループ構成は本部道場、松江、宍道、加茂支部、遠くは神戸支部の10代~30代の若手男女会員22名で、階級は二級から師範までとさまざま。安来節保存会の会員数は約4,100人で平均年齢は63.6歳。そのうち30代以下の会員数は約10%と少ない。この結成により若者に少しでも安来節に興味を持ってもらい、若い人達に広がれば良いと期待している。



本部道場
一字川 耕士

SOW 発進

十一月二十三日……安来節演芸館での飲み会にて……
『この会の名前を『SOW~想 創』と名付けます。二月か三月位には公演をやりたいと思います！』
『おー！！』

自分が安来節を始めて約十年、今までの保存会の資格審査や大会などで若人をちらほら目にはするけどほとんど話なんかしたこと無い……『まあ、一人でいーや。』最初はそう思っていた。でもやっぱり好きな事の話で盛り上がる仲間が欲しい。みんなで舞台なんかしたら楽しいだらうな……

ここ一年、海外公演や安来節の演芸などで他の支部の若い人達と話す機会が何度かあった。最初はやはり警戒をしながらだけど(笑)話をしていくとみんな明るくて、楽しくて、個性があつて、それで安来節が大好きで！。色んな垣根を越えた若い人達での交流を望んでました。

『やつは考える事は同じだなあ……じゃあちよつとさつやってみるか。』
『あつたので、』ととにかく最初飲み会だけしよう！後の事はまた考えよう。』
と、初めは六人で飲み会を企画し、三味線や鼓なんかも持って来て『次も絶対やろう！』とか言いながらジャガジャガ♪やりながらお酒を飲みました。
そして夏、全国大会二日目の夜また飲み会(笑)をやろうと言う事で前回の六名が知り合いに声を掛け、一応回々のお師匠さんに一言通してもらってから参加という形でやり、東は現：神戸支部の方から加茂支部の方まで若



松江支部
佐藤 治郎

SOW 結成!

何の分野においても、同世代の仲間が多いことは楽しいものである。しかし安来節も含めた若手の民謡愛好者とはにかく少ない。若い人が民謡をやらなくなれば、民謡という音楽ジャンルは「絶滅危惧の民族音楽」になつてしま

手十六人が集まりました。やはり三味線、鼓用意で大きい盛り上がり、飛び入り参加された安来節演芸館の支配人から『次回は是非演芸館で！舞台もあるし！』と誘って頂きました。

少しずつ頭の中で思っていた若手だけの舞台……。グループ名を付けるのとみんな余計にやる気になつてくれて、この若手だけの集団や公演がかなり現実的になるんじゃないかな……。と二三日前に考え、パツと思ひ浮かんだのが『SOW~想 創』

想……安来節が大好きな想創……これからの安来節を担う若手です。ホントビックリする位パツと出たのです(笑)
十一月二十三日、またまた飲み会です。前回の支配人からのお誘いもあり演芸館で開催。
舞台も使つてヨイとの事なのでみんなそれぞれ道具を手に総勢二十二人集まりました。そして『SOW』の発表。
SOWに参加するにあたり、当たり前前の事ですが、それぞれの流派、お師匠さんのやり方等があるので、お互いそういう所には絶対触れないという前提でちゃんと色々説明してもらって、お師匠さんの承諾をもらって下さい。

と説明し、SOWの結成となりました。それから初舞台の日程が決まるまですぐでした。
二月二十二日に安来節演芸館での公演が決まり、十二月に入りすぐ自分が代表になることを決め、役員を決め、役員会議を何度となくやり、深夜十二時を回る事も度々ありました。それに平行し週一回から二回集まっていた練習。みんなそれぞれ家庭があつたり用事があつたりと中々忙しそうでしたが、なるべく時間を作つてくれて練習に参加してくれた事にとても感謝しています。更に公演当日仕事で欠席する会員まで練習に参加してくれた。『あー、この子も安来節大好きなんだな……』と嬉しく思いました。

そしてあつという間に公演当日がやってきました。

朝一から色々な問題が山積み……本番を迎えるまで持つかいな……と思つたり、本番うまく行くかいな……と思つたり。
いよいよ本番……舞台袖を出た所で、『やつとここまで来ました。一生懸命、でも楽しんでやりました。一生懸命、入れて行くぞー！！』
『おー！！』

二公演共にみんな必死に……でも楽しんでやっていると分かりました。色々ハプニング等ありましたが何とか終わる事が出来、みんなの顔はとも満足そうでした。
今回の舞台が終わり、様々な御意見を頂きました。その中で良い所は伸ばし、改善すべき所は改善して、もっともつと良いSOWにしていきたいと思

います。
今後、SOWは年一回程度の公演を続けて行こうと考えております。SOW会員一同まだまだ未熟者ですがこれからも勉強し頑張つて行こうと思ひます。ので、皆様応援宜しくお願い致します。
今回の公演で、一番頑張つてくれた俺の大好きなSOWへの理解をいただいた各お師匠様方に感謝。
SOW公演のチケットを買つた方に感謝。
最後にSOWを応援してくださつていただきありがとうございます。SOWはこれからです。

を重ねるうちに、みんな同じように安来節のことを真剣に考えていると強く思うようになった。
二月初舞台はこれまで経験したステージの中で最も達成感を感じた。お客様も我々も一体となりステージを楽しむことができた。しかし正念場はこれからである。「民謡」という言葉と年寄りくさい(?)音楽ジャンルに対し、いかに一般の若者の興味を引くのか、場合によっては大それたチャレンジが必要になる。サンバ安来節、バラバラ安来節の次はSOWから何かプロデュースするかもしれない。もし失敗しても若気の至りとお許しください！



安来節保存会 神戸支部

この度、保存会の仲間入りをさせていただきました。何卒宜しくお願い申し上げます。

神戸・高砂・西宮・尼崎・宝塚・伊丹教室

支部長 西村 サツ子
会員 一同

〒664-0001 伊丹市荒牧5-16-26-309
TEL・FAX 072-779-8128

第58回チャリティー公演舞踊全国大会

日時：平成21年4月25日(土)
会場：東京都調布市グリーン大ホール
主催：全日本舞踊連合会
安来節保存会 東京支部参加

お問い合わせ

安来節保存会東京支部

事務局 東京都新宿区西新宿7-7-7 ハイライフ西新宿316号
TEL 03-3361-0488 FAX 03-3361-4293

ひびけ歌声世界の空へ

新支部発進

飯南支部設立について



飯南支部長
岩崎美智子

昨年十一月に飯南支部設立の認可を頂く事となりまして、喜びと共に責任の重さをひしひしと感じているところでございます。

私と安来節との出会いは二十七年前大阪在住の頃故郷を思い、心を引かれて設立されたばかりの関西支部に入会させて頂きました。設立された旧支部長梅若朝隊先生に師事し、基本からご指導賜りまして師範に昇格させて頂きましたが何事においても時間が掛かり、七曲りの連続でございまして、それでもご指導のおかげと安来節が大好きでお稽古を休まなかつた事が自身のエネルギーにもなっています。

十八年前に飯南町にUターンをして岩崎教室を開き、大阪へ稽古に通いました地元の大東支部、加茂支部の先生方のご指導も頂きながら自ら会員さんに指導を始めました。当初からの会員さんで保育園児や小学生でありましたお子さんがやがて社会人となら

神戸支部設立御挨拶



神戸支部長
西村サツ子

昨年十一月認可を受け、新支部として発足させて頂きました神戸支部でございます。設立に当りましては関係各位様の温かい御理解と御力添えの賜と感謝の気持ちで一杯です。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

神戸の街は六甲の山脈を背に前には海が広がる港町でございます。十四年前のあの

れて仕事、結婚、育児と多忙な中でも安来節を継続されている姿を見て、三年前より設立の準備を進めました。その間いきなり会員数を増やす事も出来ず、教室でスタートした会員さんだけで申請する事となりました。おかげ様で師匠の梅若朝隊先生を始め、現支部長田村実先生、役員の皆様様に快くご承諾を頂き、また岡山ブロック理事野坂亮若先生、出雲ブロック理事松浦保潔先生の同意を頂いた事が不安で一杯だった私共に勇気と励ましになりました。

当教室の活動面では地元の小中学校で安来節の授業、また老人ホーム、文化祭、お寺での民謡ライブ等で勉強させて頂き、その際にお子様達の声を耳にした事がきっかけとなり、昨年末には通学路防犯灯設置チャリティーを開催し、他支部からも応援、友情出演を賜りまして微力ながら役立てる事が出来ました。目標としましては何よりも継続です。その中で自身の出来る事から一つずつ目指し、その先に夢を持ち続ける事でございます。何としても若い世代に引き継いで頂けるまで飯南支部を大切に育てて行く(私自身も育てられる)事が現在の心境でございます。

今後共飯南支部にご指導ご鞭撻賜りましますよう心より御願いを申し上げます。挨拶とします。

大震災を乗り越え、元通りには云えないですが、どうか元氣を取り戻した所と云えるのでしょうか。その美しさと、力強い神戸の街にちなみ、神戸支部と命名させて頂きました。会員も神戸在住者も多く、安来節保存会をより身近なものとして受けとめ、輪が広がって行けたらと願う次第です。何分にも弱小、未熟な支部でございます。皆様方よりの御指導、御鞭撻を賜り、一步一步前進して参る所存にございます。歴史ある日本の伝統芸能文化である安来節を一人でも多くの方に楽しんで戴き、また後世へと伝承すべく努力を計り、僅かなりとも安来節保存会の発展に寄与出来ますれば幸いと存じます。今後とも御引立て賜ります様、何卒よろしく御願ひ申し上げます。

支部情報

中国・元陽の少数民族(ハニ族・イ族)との親善交流で得たもの



東京支部長 棚橋 保

私達は、十二月二日羽田空港から関西国際空港へ上海へ昆明空港へ元陽に到着した。翌四日は広大で見渡す限りの棚田の中にあるハニ族の小さな村の広場で、それぞれ特色のある踊りで交流する事ができ、多くの収穫を得る事ができた。

第一に素晴らしい環境の中で交流できた事です。見渡す限りの棚田に抱かれた事は至福の上ないものだった。第二に茅葺の屋根に見られるように、日本での原風景に接した時の感動・懐かしさに心揺さぶられた。

第三に親しみ深く、素朴な人々の表情がなんともたまらない。特に皆で夜、屋台へ繰り出して、歌の上手な福よかてかわいいママさんとの楽しいひと時、朝市で地産地消の活気に溢れた市場の雰囲気に触れた喜びは忘れられない。

第四にハニ族の皆さんの踊りで茶碗を手に持つて鳴らす踊りは「しげさ節」に類似しているのびっくりした。またイ族の皆さんが私達の魚籠を貸してと言つて、腰に付けたドジョウを入れる仕草を取り入れた踊りを披露してくれたのには感嘆した。昼食後のひと時のミニ交流会で私達のドジョウをつかむ仕草を楽しそうに見て、真似して見せてくれた。

こうして初めて出会い、ほんの一時の交流にも関わらず、日本に戻り、あの交流の場面、元陽の風景を思い出すたびに親しみが込み上げてくる。



国際親善交流 (20.12. 2~7)
安来節保存会東京支部・中国元陽哈尼(ハニ)族

大小鼓製造卸販売



杉本鼓店

住所：島根県松江市馬潟町360-13
電話・FAX：0852-37-2033
E-mail：ks36013@web-sanin.co.jp

※通信販売も致しますので、お気軽にお電話ください。修理、下取りもご相談ください。

(有)仁木三味線

製造・販売/修理 三味線・鼈甲撥・尺八・太鼓

〒240-0022 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西久保町197-1
TEL 045(713)4319 FAX 045(741)4796

HP <http://www.syamisen.com/>

安来節と私と馬子唄と



米子支部
永見 泰二

在職三十五年、その間妻子帯同で八回転勤の末、古巣の松江（現松江サティ前身）で定年を迎えました。松江を出る前に工場の演芸会で速成の安来節を一度歌っただけでした。

ラジオから流れる安来節の夕べを欠かさず耳を翫（たが）てて聞いたものでした。行く先々の民謡も然ることながら、青よ鳴くなよ：あの雄大な浅間の山の山懐深くこだまして悠久の彼方へと消え失せる馬子唄の哀調と生き様は転勤の否来世への道中唄となりました。近代産業発祥の地富岡工場から朝夕浅間の三筋を仰ぎみたものです。当地には民謡グループも多く、同僚の中にも後日、教室を開く者も出ました。また私を佐々木基晴先生へと繋いでくれました。交流の延長線上、小淵恵三代護士（後の総理大臣）の応援

弁士も努める事ができ、忘れ得ぬ思い出です。本格的に安来節を習い始めたのは平成八年、唄准師範になって突然、一代目國尾先生引退行き場の無い私は谷野継文先生の執り成して足立・稔先生に師事を許され、一からのやり直し嬌生が続ききました。お陰で平成十九年に待望の師範に合格、今か今かと応援して下さった皆さんから温かい拍手をもらいました。教わる喜びで一杯、更なる精進を誓文に認め師に捧げました。

昨年春、小学校仲間の傘寿会を開催しました折、足立・稔先生、原・郁子先輩に錦上花を添えていただいたその上に自作の詠

♪傘寿まで生かされ生きた
この仕合せを 祝い歌わん安来節
♪八重の潮路を八十年かけて
超えた友垣なつかしく交す欲び果てしない
梅の香ほんのり笑添えて
里の逢瀬は春うらら
師の三味線で発表、一生の宝物となりました。最近、川柳仲間（よ）に唆（そ）され毎月老人ホームに慰問に行つては安来節、江差追分など歌っています。

常に今在ることに感謝し、余生豊かにと念願し続けている今日この頃です。

私と安来節



岡山支部
藤田 澄子

私には、唄の素養は全くありません。それに耳が聞こえません。まだその上にI型糖尿病があつて一日に四回インシュリン注射をしないと生きて行けない。それなのにN先生の「安来節」の唄声に心酔してしまいました。さあ、大変です。

三年位懸命の努力をしていた頃、糖尿病があるため、免疫力が無いので髄膜炎になり、生死の境をさまよったのです。救急入院だったにも関わらず、どうして持つて行ったのか分かりませんが、N先生のテープを持って行っておりました。

高熱があつて頭が割れるような頭痛がしていてもテープを聴いていたのです。幸いにもほとんど後遺症も無く退院出来ました。

退院してから程なくして公民館の安来節講座へ行こうと思ひ、車を運転しようとしたら車が動かなくなつておりました。それでも「行きたい！」と強く思つていたので、そこから車が動き出しました。今度唄つたのですが、以前より聞こえるおかしく唄えました。そんな私を先生や今は黄泉の国へと旅立たれた先輩のKさんが温かく見守つて下さつたのです。

講座へ行くと、自分が唄うよりN先生の「安来節」を聞く事が出来るので、得も言われぬ幸せな気持ちに浸る事が出来るのです。これからも少しでも上手に唄えるように自分の健康管理や家事を怠らないうように生きて行くために「安来節」に精進しようと思つておられます。

会員の声コーナー

第二十三回「山陽四国地区安来節優勝大会」を終えて



広島西支部長
橋本 邦明

昨年十一月二十三日に呉市の二川公民館において、参加出場者二〇四名、出場組数二四一組で、「山陽四国地区安来節優勝大会」を開催いたしました。私達、広島西支部は当番支部としてお手伝いをさせて頂いたのですが、こつこつとお世話は初めての事で大変戸惑いました。しかし、審査員の先生方や各支部の会員の皆様にご協力していただき、何とか無事終了する事が出来ました。大変感謝しております。

今回、石岡邦宏先生、石川弘一先生



の両准名人より、准名人昇進の記念として、本大会に優勝旗を寄贈して頂きました。これを機に新しく最優秀賞を設け、師範の部で部門を問わず、最高得点者に授与する事になり、大会は大いに盛り上がりました。ちなみに今回見事に最優秀賞を手にしたのは、絃の部で優勝した鯉城支部の長部千春さんでした。

これからも安来節が大いに発展・向上して、この「山陽四国地区安来節優勝大会」がいつまでも続きますよう、会員の皆様と共に頑張つて行きたいと思ひます。

安来節との出会い



江田島能美支部長
岡 喜久子

江田島に嫁いで二十五年、何か趣味でも思つていた矢先に友達から三味線教室の話を受けてました。何一つ楽器が弾けませんでしたので、三味線でも弾けたら楽しいだろうなと思ひ入会しました。演歌でも教えてくれるのかと興味津々でしたが、安来節の三味線でした。民謡は全く興味が無く、黒田節くらいはどこかで聞いた記憶がある程度で安来節は一度も聞いた事はありませんでしたし、唄や鼓や踊りがあるなど全く知りませんでした。

三味線も叩けば少し音が出るのでそれが嬉しくて続けていりましたがあまり乗り気ではありませんでした。その後、

舞台上で石川先生の安来節を初めて聞いた時、感動して鳥肌が立ち、その唄声から離れる事はありませんでした。世の中にこんなにも凄く唄があるとは、人の心をこんなにも虜にする唄があったとは、ただただ驚嘆でした。私が求めていたのはこれだと思ひ、心躍る気持ちで習い始めました。先生のように唄いたい、上手になりたいと稽古に励んでまいりましたが、一声がどうして出ず、発声の勉強もしました。何度も何度も壁に突きあたり、そのつど難しき、奥深さに苦しみ悩みの連続ですがあの時の感動が忘れられず今日に至っております。

最近はお孫と孫が三味線に興味を持ち、稽古しています。昨年も親子三代で全国優勝大会に出場させて戴きました事は何よりも嬉しい限りです。思いと実力は伴いせんがこれからは肩の力を抜き、一步一步魅力ある安来節を続けて行けたらと思つております。

指導して下さいました先生、会員の皆様、理解ある家族に感謝の気持ちで一杯です。

事務局からのお知らせ

専務理事
(兼事務局長) 2月1日付
成 相 二 郎

支部設立・廃止
静岡支部 (設立)
但馬支部 (廃止)

安来節保存会会員特典!

次の施設で安来節保存会会員証をご提示されますと次の特典が受けられます。

- ・足立美術館入館料 2,200円が2,000円
- ・安来節演芸館 観賞料半額

平成21年唄い初め会支部競演結果表

安来市長賞	本 部	道 場
安来市議会議長賞	神 戸 支 部	部
安来市観光協会賞	神 門 支 部	部
安来商工会議所会頭賞	境 港 東 支 部	部
山陰放送賞	津 山 中 央 支 部	部
足立美術館賞	大 東 支 部	部
家納喜賞	鳥 取 中 支 部	部
安来節演芸館賞	大 田 支 部	部

あらエッサくんに関する商品 (ストラップ・Tシャツ・タオルetc)



に興味のある方は下記までご連絡よろしくお願ひします。

〒692-0001 島根県安来市赤江町164
TEL 0854-23-7435
ファックス 0854-23-7455

【有】ざるや